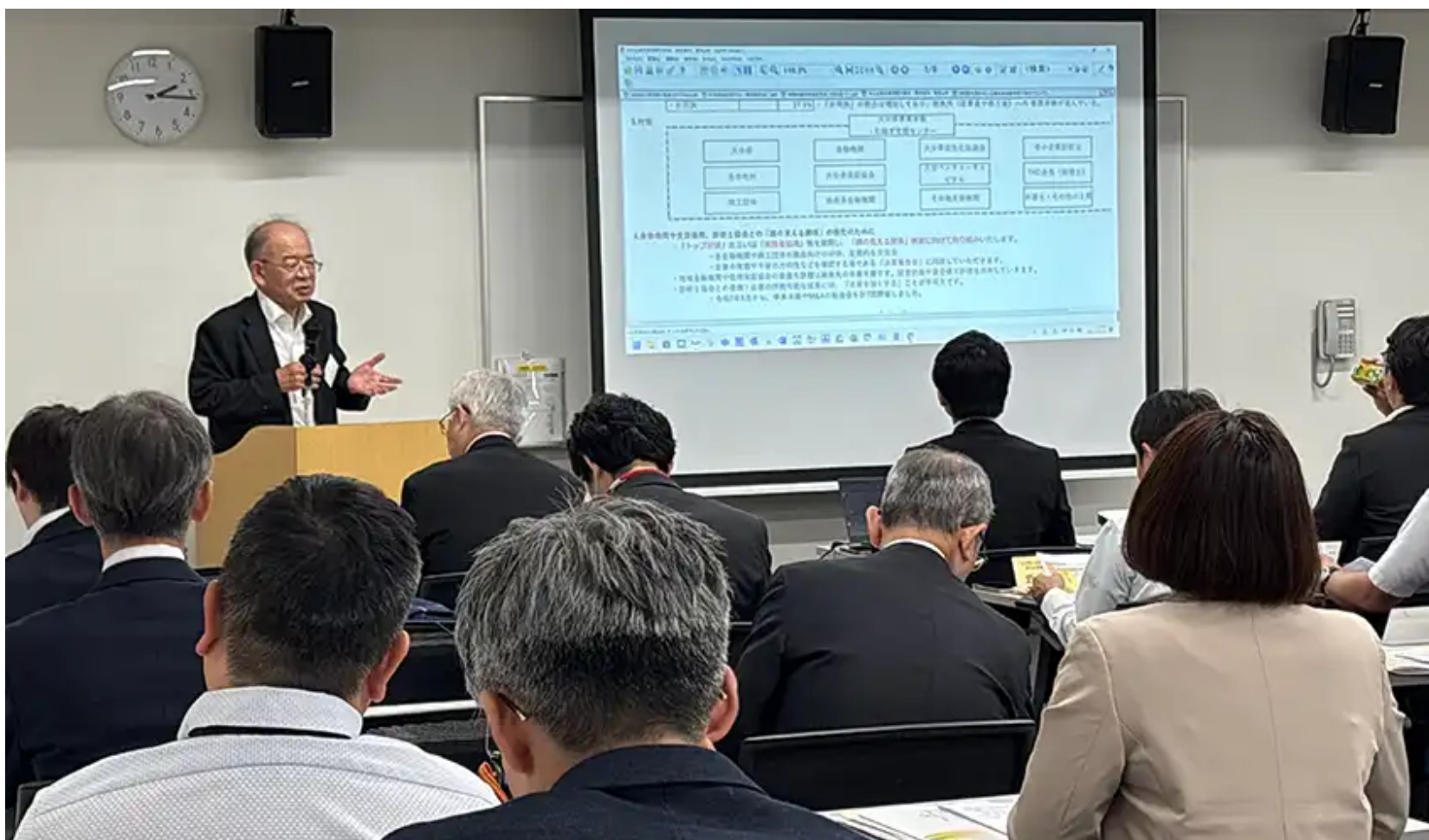


TKC九州会大分支部、支援機関と情報交換会開く 事業承継事例など共有

2025.10.21 17:30



事業承継の現状を伝える蔵前委員長（10月21日、J：COM ホルトホール大分）

TKC九州会大分支部（清末和弘支部長）は10月21日、大分市内で情報交換会を開いた。認定支援機関や金融機関関係者など約40人が参加。事業承継対策など各機関の中小企業支援事例を共有し合った。

情報交換会は、中小企業支援に携わる金融機関や支援機関、専門家、自治体などの連携を強化するため2016年から継続的に開催。TKC九州会大分支部と大分県中小企業診断士協会が主催する。

同日は、「三位一体の事業承継対策支援」と題し、蔵前達郎中小企業支援委員長が登壇。蔵前委員長は「中小企業診断士や金融機関、支援機関同士の顔が見える関係性が重要」と強調して伝えた。大分県内で親族外承継が増加している現状を分析したうえで、従業員承継や持ち株会社設立による承継など種類ごとの提案手法を紹介した。

会後半では、参加した13支援機関の代表者が取り組みを発表。豊和銀行は支援部署合同での経営改善支援と事業承継の支援件数を公表。大分県信用組合は、高齢者・障がい者支援事業者向けの県制度資金「やさしさライフビジネス支援資金」を紹介した。

TKC九州会大分支部の甲斐幸丈中小企業支援副委員長は「支援機関同士が連携をさらに深め、迅速な中小企業支援に努めたい」と述べた。